



福しる

中村俊定文庫  
文庫 18  
235





中村

神代下小塚の石を流す  
よりの水もすくすく流す  
かまの川もすくすく流す  
川流もすくすく流す  
水もすくすく流す  
水もすくすく流す

陰定藏

申しははるるのつらきこと一極のこゝろ  
まじりて人の御心お流るる海は  
冥かみよき式はぬし一贅一はるる  
是くすまはるるはるる常盤の  
林より有るはるるはるる  
はるるはるるはるるはるる  
はるるはるるはるるはるる  
はるるはるるはるるはるる

あつちのつらきこと一極のこゝろ  
の面もはるるはるるはるる  
はるるはるるはるるはるる  
はるるはるるはるるはるる  
はるるはるるはるるはるる  
はるるはるるはるるはるる  
はるるはるるはるるはるる

はるるはるるはるるはるる  
はるるはるるはるるはるる  
はるるはるるはるるはるる  
はるるはるるはるるはるる  
はるるはるるはるるはるる  
はるるはるるはるるはるる  
はるるはるるはるるはるる

あまの國夏乃風色にききれり用ひ  
まゝんや

ま村心朱仲



錦國觀

泰室

るを食乃藤ふも酒の風味下  
とを軟ふ何ぞれてふ乃物倍 弋池  
一秘あり小行終ふまを惜らん 虬十  
かゝる海濱を耐う 未廣 朱仲  
流るる風のあつふよ小能月 池  
掃の月さゝハ何のふもあゝ 十



耳のしるしに思ふことの果報也室  
まつらうと海ふ泉水小く晴、  
やうとふる斤膝とくる水かさ十  
ひすんことまこくさるこら巻、  
眉間尺伯父のいふ事と耻し、仲  
琴乃章教も月はいしや、  
か〜〜や瓢のこ〜も細く〜池  
も終るぬ〜もは昔船乃声、

十  
子〜〜の〜〜あ〜〜も春を〜  
〜海〜〜揚〜〜旅の去刀仲  
掃〜〜さ〜〜あ〜〜石の後池  
な板が漬〜ふた〜程〜谷乃町十  
躰〜〜此〜〜い〜〜も〜一花〜青峨  
敷〜〜い〜〜〜〜〜一箇の眞執筆

縁の引

藤ふらやあけや味く小盃 青娥  
棚かひく藤待人乃くろふ 超波  
笑や藤扇の弓く女花乃丈 湖十  
藤のまふ乃花よま福くは像 存義  
柳ふや小乃うけこの空何り 幸徳

回

花藤いつけくも柳乃うくふ 百菴  
木狭のよほつこのまひも 平砂

あらしくくわ天はくくく扇有 午寂  
はく海くあふのくけくもる 羅千

回

短冊よまへはけくは藤是 南子  
ぬら花はくつうふくく興く 東之  
さく藤よまはくもはくん池の言 琴柄  
くくくあ夜のくくわ斤底 宴尺



舞姫乃田いづれふせよ夜花 歩跡  
 常小似あま乃曲まの直の所 文璽  
 蕨笑いづれ白く 畔水  
いづれ雨も花も藤の花 金璽  
いづれ九輪のいけも水は面 青瑣  
いづれ花も花も後のむ 四友  
いづれ刀の女もいづれ 永義  
いづれ花の案ハる 甲 良義

酒いづれ花もいづれ 青甫  
いづれ花もいづれ 專璽  
 娘の子もいづれ 米居  
 友乃いづれ 鼓柳  
 糸合の船いづれ 東蝶

回

大は井戸いづれ 萬宇  
いづれ花もいづれ 玉虹

十の松汝も一た藤原  
 氏峨  
 少らも物もいし海もあつた松  
 青都  
 池もあや尾いもいり心う流  
 惠風  
 青もあかの伯了う藤乃花  
 敬由  
 少らも物もいし波もあつた凡の彼  
 似竹  
 藤もあやうもあつた白扇  
 白扇  
 母らもあやもいし比翼の巢  
 貞府  
 藤もあやうもいし二人神  
 百重

少らも物もいし風もあつたも藤原  
 雷指  
 少らも物もいし藤原のほもあつた  
 千倫

何れもいし心もあつたも  
 付もあつたもいし心もあつたも  
 ちもあつたもいし心もあつたも

敬もあつたも藤原のほもあつたも  
 泰室

まの宴

能もあつたも藤原のほもあつたも  
 直峨  
 朝もあつたも藤原のほもあつたも  
 鳥眠

錦織改  
 直峨  
 鳥眠

あまのりし露のり風や雉乃声 有篁改 民井  
葉のりや紅蓮さくく乃揖松 史梅  
大あされ目くれすもや糸柳 汝之  
一通りあ~~~~ふ 疎な蛙心 水齋改 五丈

回

若新や石乃流あ~~~~音さく  
さくく持例の女申さ~~~~まあ是心 川越 連國  
あ~~~~あぬさ~~~~白甲。さ~~~~く鴨 カチ川 溪翁  
あ~~~~あぬさ~~~~白甲。さ~~~~く鴨 回 白糸

あまのりし露のり風や雉乃声 有篁改 民井  
葉のりや紅蓮さくく乃揖松 史梅  
大あされ目くれすもや糸柳 汝之  
一通りあ~~~~ふ 疎な蛙心 水齋改 五丈

軸

あまのりし露のり風や雉乃声 有篁改 民井  
葉のりや紅蓮さくく乃揖松 史梅  
大あされ目くれすもや糸柳 汝之  
一通りあ~~~~ふ 疎な蛙心 水齋改 五丈

来るるふむけも皆回しその 泊徳  
 とう鯉一両さうとて 晋子  
 麻を流しなが著と見ると 琴柄  
 章門乃是ふとゆめ 朱仲  
 無の異のせぬと酒との 式池  
 商人の五あかけと物と 文璽  
 平山一ひらり物乃あふまひ 凉兔  
 晋子

ひのよと笑ふと首のけほの 虬十  
 近江乃秋と葉分所 金璽  
 男乃とるもとて 朱仲  
 神の物ととととと 畔水  
 親の神子ふととと 闇指  
 新水ととととと 晋子  
 宇治橋中跡とととと 青瑣  
 原とととの割れて霞と煙り 式池

やふ臭キ膏キ菜キふキ〜之キ深キ倚キ 虬十  
〜り細キ利キ〜り〜路キ〜厚キ水キ瓶キ 步跡

享保丙辰夏四月上浣

彫工 吉田莫川



酒井氏藏

初紫  
洗弁

